

令和2年 堅果類（ドングリ）の豊凶調査結果について

1 堅果類（ドングリ）の着果状況について

秋のクマの主食と考えられるブナ、ミズナラ、コナラの実の豊凶調査の結果、ブナが平成17年の調査開始以来初めて2年連続凶作となっています。また、ミズナラは昨年より良いものの、コナラは全体的に悪い状況（特に県西部）です。

年	地域	ブナ	ミズナラ	コナラ
令和2年	県下全域	凶作	不作	不作
	(県東部)	凶作	不作	不作
	(県西部)	凶作	不作	凶作
平成18,22、令和元年	県下全域	凶作	凶作	不作

(神通川を境に東側を県東部、西側を県西部)

2 ツキノワグマ出没の可能性について

クマの出没と関係の深いブナが、ほぼ全ての地域で凶作であることから、クマが食べ物を求めて標高の低い所まで活発に活動することが懸念されます。山裾の集落周辺の他、平野部においてもクマの出没に厳重な警戒が必要です。

3 森林研究所の樹種別着果状況調査結果(調査時期：ブナ8月、ナラ8月中下旬)

樹種	ブナ
作柄	全県 凶作：1箇所を除き凶作
調査箇所	15箇所調査 ・境川、嘉例沢、馬場島、立山桑谷、立山ブナ平、有峰(下部、祐延、峠谷)、大長谷、山の神、細尾峠、菅沼、ブナオ峠、大門山、医王山
樹種	ミズナラ
作柄	全県 不作：凶作から並作までばらつく
調査箇所	16箇所調査 ・境川、嘉例沢、平沢、馬場島、芦峠寺、有峰(猪根、西岸、峠谷、東谷)、桧峠、牛岳、大長谷、山の神、細尾峠、西赤尾、医王山
樹種	コナラ
作柄	全県 不作：凶作から並作までばらつく 県東部 不作：凶作から並作までばらつく 県西部 凶作：1箇所を除き凶作
調査箇所	10箇所調査 ・三峯、魚津、東福寺野、吉峰、猿倉、頼成、閑乗寺、医王山、俱利伽羅、五位

作柄は豊作、並作、不作、凶作の4段階区分(健全堅果密度と着果指数に基づく)